

海岸近くの古代集落



E区遠景、4棟の掘立柱建物



弥生土器出土状況

白山市小川 B 遺跡は、主要地方道金沢美川小松線の拡幅工事に伴って発掘調査を行いました。

平成 27 年度に実施した北側の調査では、弥生時代後期の集落を確認しており、今回の調査では弥生時代後期～終末期と古代の集落などが見つかりました。

弥生時代後期～終末期では小穴や土坑や溝など、古代では 8 棟の掘立柱建物を確認し、8 世紀後半の須恵器が多く出土しています。

中世では多量の自然石を埋めた台形の土坑のほか、時期不明の畝跡も確認しました。



R3 発掘調査

ひとつはり いせき こまつし
一針 C 遺跡 [小松市]

一針 C 遺跡は、^{かけしがわ}梯川右岸に位置する集落遺跡です。梯川の改修工事に伴い、平成 25 年度から発掘調査を行っており、川の^{はん}氾らんなどに伴う土砂堆積により、弥生時代～中世の複数の生活面が確認されています。今年度は昨年度に引き続き、新たに^さつくられた堤防の内側で、増水期を避けた春と秋に発掘調査を行っています。春期の調査では、2つの調査区を対象に調査を行い、上層面から中世の集落跡に伴う遺構や水田跡を確認しました。

調査区 1 では、中世の掘立柱建物柱穴や大小の井戸・土坑などを多数確認しました。

調査区 2 では、蛇行して流れていた梯川旧流路が埋まった後に作られた、約 40m×25m の長方形の大畦畔に囲まれた中世後半の水田跡や水路、^{さくれつ}柵列などが見つかりました。

調査区からは、中世の土器や陶磁器、石製品などのほか、井戸からは金メッキされた銅製の^{しょうはい}小坏や石臼、石塔、下駄、漆器椀、木製ひしゃくなどの遺物が出土しました。



調査地の遠景（南東から）



調査区 1 の全景（北東から）



調査区 2 の全景（北西から）



[調査区 1] 中世井戸の完掘状況（西から）



[調査区 2] 中世の水田畦畔と水路、柵列（北から）



[調査区 2] 井戸出土の木製ひしゃく

R3 発掘調査

しょう にしじま いせき かがし
庄・西島遺跡 [加賀市]

庄・西島遺跡は、江沼平野のほぼ中央に位置する、弥生時代後期～中世の集落跡です。約1km四方に及ぶ広大な推定域をもつ本遺跡は、この地域の中心的な集落の一つと考えられています。平成27年度から発掘調査を進めており、今回は7年目、そして最後の現地調査で、南西部に位置する津波倉町地内が対象となりました。

旧庄跨道橋の約200m東側に位置するX4区では、弥生時代の木棺墓や土器が廃棄された土坑のほか、古代の掘立柱建物の一部を、同橋南側に位置するK4・5区では、古代の道路跡のほか、直径1m前後の粘土採掘坑の連なりを確認しました。

同橋西側に位置するY2区では、平安時代の掘立柱建物2棟と土器廃棄土坑等を確認しましたが、その東隣に位置するY3区では、井戸と大型の粘土採掘坑の2遺構にとどまりました。平成27年度にY2・3区の北側を調査した際には、整然と並ぶ古代の掘立柱建物群を確認していますが、今回の調査範囲にこの建物域は広がらず、土取りや廃棄の場となっていたことがわかりました。一方で、今回確認した建物や井戸が南側に偏在することから、新たな建物域がY2・3区の南側に広がる可能性もでてきました。

なお、このY2・3区を含む北側の一帯は、白鳳期はくほうの古代寺院「津波倉廃寺」の推定地として知られる区域です。同区からは少量の古代瓦が出土しましたが、その遺構は確認できませんでした。寺院の位置を特定できなかったことは残念ですが、7年間の調査により、当地の弥生時代～中世の様相の解明に繋がる数多くの成果が得られました。



道路遺構 (古代・K4区・北から)



土器廃棄土坑 (平安時代・Y2区・北から)



掘立柱建物 (平安時代・Y2区・北から)



調査区遠景 (Y2区・西から)



井戸 (平安時代・Y3区・北から)

R3 第23回古代体験まつり

令和3年10月10日(日)に「第23回古代体験まつり」を開催しました。このイベントは、発掘調査の成果等からわかった古代の知恵やワザを体験してもらうものです。

今年は晴天に恵まれ、家族連れを中心に、600名以上の方が来場し、賑わいのあるまつりでした。

開催にあたっては、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場者には入場の際の検温、手指消毒、マスク着用、入場カードの記入等の協力をお願いしました。また、各体験コーナーにも消毒液を設置し、体験前の手指のアルコール消毒を徹底した上で、来場者が密にならないように体験者間の距離を確保しました。

今年の体験まつりは、和太鼓演奏などのステージイベントや人気の古代体験など、16の体験コーナーを設けました。

ステージイベントでは、金沢市田上町の「田上本町たいこ倶楽部」による力強い和太鼓演奏により会場は盛り上がり、「まいぶんクイズ」にも多くの来場者が参加しました。また、石川県立自然史資料館とのコラボ企画「古代の樹木を観察しよう」では、埋文センター体験ひろばにある樹木の自然と考古学の観点からの解説が行われ、参加者は話に聞き入っていました。

古代体験では、今年も「縄文弓矢」や「火おこし」、「まが玉作り」、「まいぶんラリー」の人気は健在で、久々に復活した「発掘体験」や「縄文布アンギン」なども大変好評で、多くの来場者が古代体験を楽しみました。

さらに、「古代米」や「縄文クッキー」の古代食に関するコーナーや「農園収穫体験」は、あらかじめ案内していた配布時間になると、長い列ができるほどの人気でした。また、会場内に設置したフォトスポットでは、来場者がはにわと一緒に写真撮影したり、古代衣装の顔出しパネルで写真撮影する姿が多く見られるなど、他の体験メニューも好評で、各コーナーは終日賑わっていました。



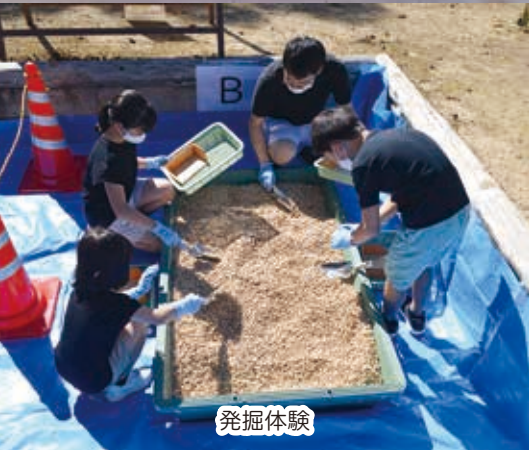
会場の様子

検温と消毒の実施



和太鼓演奏

まいぶんクイズ



R3 職場体験

中学校の職場体験

当センターでは、中学生の職場体験の受入をこれまで毎年おこなっていました。今年は新型コロナウイルス感染症により制約の多い時期でしたが、中学校の生徒に職場体験をさせたいという、強い希望があり、今年も受入の申し入れがありました。

今年7月6日、7日の2日間にわたって金沢市立内川中学校から9名、9月27日に金沢市立犀生中学校から5名を受け入れました。例年、生徒の受入を5名以下、職場体験を3日間としていましたが、今回は各学校の要望に合わせて実施しました。

当センターの主要な業務である発掘調査の体験は、金沢市観法寺墳墓群かんぽうじふんぼくぐんでおこないました。当日は好天に恵まれ、尾根の上は風がよく通り、土を掘って流した汗に生徒達は心地良さを感じていたようです。

遺物整理では、七尾市田岸遺跡たがしの土器の接合をおこない、土器へのネーミング作業もおこないました。接合はパズルよりも難しいという感想がありましたが、それも接合する部品を見つけると大きな歓声が上がっていました。ネーミング作業では土器に目立たないような小さな文字で遺跡名などを注記する作業に苦労していました。

また体験工房では、古代体験の用具の準備や整理をしたほか、花が咲いた後の藍の葉で染めができるかの実験をおこない、無事に成功し、これからの普及活動に成果を反映していきたいと考えています。さらに図書資料整理もおこない、生徒達はたくさんある本の量に驚いていました。

このように、当センター業務の柱である発掘調査・資料管理・普及啓発の三つを体験したことで、当センターの理解が深められたと思います。



接合作業の様子



体験用具の準備中



書庫の報告書を整理整頓

第23回いしかわの発掘展 『いしかわの城下と村』

地中に埋もれている遺跡とちがって、お城や城下はその名残りを実際に見ることができます。そうした意味では、お城や城下は身近にある遺跡の代表かもしれません。

石川県には戦国～江戸時代の城下の名残りが、土地の区画や道路、建物、用水路などに色濃くみられ、近年には観光地として、さらには歴史学習の場としても大いに注目されています。

今回の「いしかわの発掘展」では、七尾・金沢・小松・大聖寺の4つの城下と近隣の村を取り上げ、発掘調査からわかった成果をもとに、それぞれのテーマに沿って地域の歴史を紹介しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年7月17日～7月30日までの短い期間の開催となりましたが、興味を持った城下を訪ねる際の参考にしてもらうため、マップ付のガイドブックを作成しました。ガイドブックは当センターのホームページからダウンロードすることができますので、ぜひご活用ください。

休館期間中に、テレビ番組の取材が行なわれ10月2日に放送されました。



ガイドブック



展示準備風景



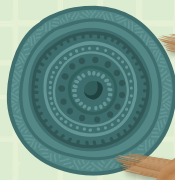
テレビ番組の取材風景



会場の様子（七尾城下コーナー）



会場の様子（金沢城下コーナー）



まいぶん日誌

令和3年
(2021)

7月～10月



7月

夏の「いしかわの発掘展」
今回のテーマは「いしかわの城下と村」です

「人物はにわづくり」です



出来映えはどうか？
「大満足だよ！」



七尾・金沢・小松・大聖寺
の4城下と近隣の村を紹介



「人物はにわづくり」の
窯焚きです

8月

キレイに焼き上がりました！



最高温度800度



新型コロナウイルス感染症
対策に伴う全館臨時休館

今回は7/31～9/30 までと
なりました



こんしんの力作だよ



遺跡出土文字資料から
その理由に迫る

まいぶん考古学講座①

「いしかわ文字のことはじめ」

はにわ勢揃いです



集中してますー！

職員研修
「藍の生葉染め」です

今年のため、残念ながら中止！



色鮮やかに染まりました



10月

古代体験まつり

古代体験学習講座
「須恵器」づくり

9月

県教委広報番組の収録です

センターの仕事を紹介！

好評！まいぶんOXクイズ



さて〇×どっちな



ろくろを回して坯をつくっています